

第3章 環境に優しいまちを実現するために ～活動紹介～

第1節 子ども向け環境教育

エコキッズ・プログラム

「エコキッズ・プログラム」とは、小学校や幼稚園などの団体を対象に、自然体験を通じて、地域愛や自然を大切にする心を育むことをねらいとして実施するもので、NPO法人あそベンチャースクールが企画運営しています。

主な活動としては、琴似発寒川や左股川に生息する魚や水生昆虫を観察しながら、川の生態系と水質を学ぶ「水生生物観察会」や、五天山公園や宮丘公園など、緑豊かな自然の中で植物や虫を観察し、自然界の不思議や仕組みを学ぶ「自然観察会」を実施しています。

また、秋には、かまど作りや薪を使った火おこしなどの古くからある炊飯方法を体験することで、かつて稲作が盛んに行われていた西野の歴史を学ぶ学習会、そして、冬には、雪像作りや雪合戦といった雪と親しむ野外活動など、季節に応じたさまざまな活動を行っています。

エコキッズ・プログラムの前身として平成16年度に開始した「水生生物観察会」は、当初、年に1、2回程度の実施でしたが、エコキッズ・プログラムと名称を変え、年々内容や規模を拡大したことにより、平成26年度は年間40回実施し、参加人数は2,600人を超えています。

なお、この事業は、札幌市環境プラザから、自然環境についての指導や解説を行う「札幌市環境教育リーダー」を、また、札幌市役所の環境局及び建設局から、水質や河川を専門とする職員を講師に迎えるなど、他部局との連携を図りながら、より専門的な内容の学習会となっています。



水生生物観察会



羽釜での炊飯作業



自然観察会



雪像作り



西区コドモ自然学校

平成 25 年度～

「西区コドモ自然学校」は、区民協議会設立 10 周年記念事業として始めたもので、エコキッズ・プログラムが区内の小学校や幼稚園などの「団体」を対象としているのに対し、「個人」を対象として、自然体験学習会を実施するものです。

夏は琴似発寒川上流の平和湖での水生生物観察会、秋は五天山公園で、色付いた草木を活用し自然遊びを楽しむ自然観察会、冬は雪の降り積もった三角山を登り、雪遊びや尻滑りを行う雪山体験と、四季折々の自然を満喫できるものとなっており、学校・学年の異なる子ども同士が交流し、友達の輪を広げる場にもなっています。



チューブでの水中観察



落ち葉を使った工作



三角山での雪遊び

自然遊び本「春夏秋冬～親子で遊びたい～」

平成 26 年度

区民協議会設立 10 周年記念事業として、西区ならではの四季折々の自然の楽しみ方や自然の中での遊び方をまとめた冊子「春夏秋冬～親子で遊びたい～」を作成し、区内の小学校、幼稚園、子育てサロン等に配付しています。

この冊子は、子育て中のお父さんやお母さん、保育園や幼稚園の先生などに活用してもらうことで、子どもが自然と親しむ機会を増やしてほしいと、西区環境まちづくりリーダー（25 ページ参照）が中心となって作成したもので、区内の山や川、公園で、誰もが気軽にできる季節に応じた自然遊びを、イラストや写真をふんだんに使って紹介しています。

平成 26 年 10 月 28 日には、未就園児の児童とその親を対象に、冊子に掲載されている自然遊びを取り入れた自然体験学習会「親子でエコキッズ・プログラム」を開催しました。



親子でエコキッズ・プログラム

自然遊び本
「春夏秋冬～親子で遊びたい～」



西区子ども体験学校

平成20年度～

「西区子ども体験学校」は、区内の小中学生を対象とする宿泊研修で、公益社団法人札幌市子ども会育成連合会西区支部が主催しています。

札幌市外での宿泊研修を通じて、参加した子どもが北海道のさまざまな土地やそこにある自然を知り、自分の暮らす地域との違いを感じることで、自分の暮らすまちの魅力を再発見することを目的として実施しています。

平成20～22年度は「登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉱山」、平成23～25年度は「北海道立洞爺少年自然の家 ネイパル洞爺」、平成26年度は「国立日高青少年自然の家」と、3年おきに地域を変えて実施し、カヌーやラフティング体験、トウモロコシ収穫体験など、地域の特性を生かしたさまざまな自然プログラムを体験できるものとなっており、例年40～50人ほどの小中学生が参加しています。



洞爺湖でのカヌー体験



トウモロコシの収穫体験



ウッドクラフト作り

西区PTA子ども作品コンクール

「西区PTA子ども作品コンクール」は、区内の小中学生を対象に、「交通安全」「環境問題」「私の夢・主張」の3部門について作文・川柳・ポスターを募集するもので、札幌市西区PTA連合会が主催しており、例年、表彰式を実施するほか、公共施設や民間施設等での作品展示会を開催しています。

このコンクールを通じ、子どもの創作意欲が促進されるとともに、環境問題について考える機会を提供できることから、区民協議会では、表彰式や作品展示会の運営を支援しています。



表彰式



イオン札幌発寒店での作品展示会

第2節 省エネ・リサイクルの推進

木質バイオマス普及促進事業

平成 17～19 年度

間伐材等を利活用する木質バイオマス(※)は、その原料となる樹木が成長する過程においてCO₂を吸収することから、地球温暖化を防ぐための良質なエネルギーであると同時に、森林や木材が豊富な道内においては、輸送エネルギーの少ない地産地消型エネルギーに位置付けられています。

その中でも、間伐材や端材などをおが粉にし、小粒状に固めた「木質ペレット」を燃料とする「ペレットストーブ」は、木質バイオマスを活用する環境に優しいストーブとして注目されていたことから、ペレットストーブの普及促進を図るため、以下の事業を展開しました。

※ 木質バイオマス

バイオマスとは、再生可能な動物や植物などの生物由来の有機性資源であり、その中で木材からなるバイオマスを「木質バイオマス」と呼ぶ。木質バイオマスには、主に、樹木の伐採や造材の時に発生する枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの種類がある。

* 新エネルギー講演会

北海道経済産業局、財団法人新エネルギー財団(現：一般財団法人新エネルギー財団)との共催により、淑徳大学教授・北野大氏を講師に迎え、「マー兄ちゃんのやさしい新エネルギー講座」を、平成 17 年 12 月 21 日に開催し、今後、活用が期待できる新エネルギー「太陽光、風力、バイオマス」や「省エネ」についての講演を行いました。また、講演会に併せ、木質バイオマスを燃料とするペレットストーブの燃焼展示も行いました。



淑徳大学教授・北野氏の講演

* 環境にやさしい森林エネルギーシンポジウム

森林エネルギーをテーマに、2部構成によるシンポジウムを平成 18 年 3 月 2 日に開催しました。第 1 部では、「木材を使うこと、海外の事例から」をテーマに、北海道大学大学院農学研究科助教授・柿澤宏昭氏による基調講演が行われ、海外の木材活用実例などが紹介されました。

第 2 部のパネルディスカッションでは、木質バイオマスの中で、とりわけペレットストーブの将来性などについて、意見が交わされました。

また、会場内外において、木質バイオマスのパネル展示やペレットストーブの燃焼展示も行いました。



パネルディスカッション「地域で木質エネルギーの利用を進めるために」

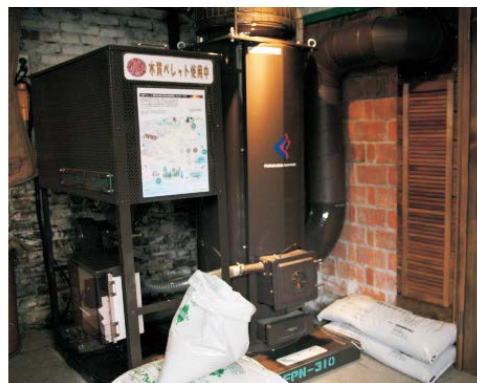
* 地球に優しい森林エネルギーセミナー

平成19年3月29日に、NPO法人北海道新エネルギー普及促進協会理事長であり、道内において木質バイオマス利活用普及の第一人者である大友詔雄氏を講師に招き、講演会を開催しました。木質バイオマスに関心を示す企業関係者などを対象に、最新の実証試験結果を紹介しながら、木質バイオマスの将来展望などについて講演しました。

* ペレットストーブモニター制度

一般家庭や商業施設などへのペレットストーブ導入を促進するため、平成18年度に「西区ペレットストーブモニター制度」を創設し、ペレットストーブの購入本体価格の半額(上限額5万円)を助成しました。本助成制度を利用し、平成18年度には5件、平成19年度には6件の一般家庭や店舗が、ペレットストーブを導入しました。

モニター第1号・Cafe-lunch 斉藤ファーム



新エネルギー教室

平成16～17年度

新エネルギー(※)の重要性と必要性を理解し、省エネルギーの推進による環境に配慮した生活の実現を目指し、北海道経済産業局及び財団法人新エネルギー財団(現:一般財団法人新エネルギー財団)との共催により、「新エネルギー教室」を計4回開催し、区内4校の小学生683人が参加しました。

この教室では、子どもが新エネルギーの実用性を体験しながら理解できるよう、ビデオ上映やクイズなどを交えた解説や、太陽電池を使ったソーラーカー模型を製作する工作教室が行われ、新エネルギーの実用性を肌で感じながら、楽しく学習しました。

※ 新エネルギー

石炭・石油などの化石燃料や核エネルギーに対する、新しいエネルギー源の総称。太陽光発電、風力発電などの自然エネルギーや、バイオマス(動物・植物などの生物由来のエネルギー)などがある。



クイズを交えながら新エネルギーを学習



ソーラーカーの製作

廃食油の独自回収

平成20年度～

廃食油（使用済みの天ぷら油）は、バイオディーゼル燃料（BDF）へのリサイクルが可能ことから、消防署やスーパーマーケットなど、札幌市が設置する既存の回収拠点に加え、西区では、平成20年11月から、町内会や小学校PTAなどでの回収を開始しました。現在では、区内17団体が30カ所の拠点（巻末資料40ページ参照）において、廃食油を回収しています。

廃食油のリサイクルを行うことで、ごみ減量につながることはもちろん、BDFにリサイクルされることにより、CO₂削減による地球温暖化や大気汚染の防止にも役立っています。



小学校に設置された回収ボックス

* 廃食油回収・リサイクルの見える化



区内における廃食油のリサイクル活動の普及を目指し、廃食油のリサイクル過程を解説するパネルを平成22年度に作成しました。パネルの作成にあたっては、エコライフ・リサイクル部会の委員らが、BDFの製造施設において、BDFの精製過程を見学したほか、BDFが使用されているごみ収集車両への給油の様子やBDFの燃料タンクを見学するため、西清掃事務所を訪問しました。

このパネルでは、回収された廃食油のBDF精製過程や、その利用方法について、わかりやすく掲載し、区内の公共施設やイベント会場で、パネルの展示を行うことで、「廃食油回収・リサイクルの見える化」を進めています。

リサイクル過程を解説するパネル



BDF製造施設の見学



ごみ収集車両へのBDFの給油

ごみダイエット 裏ワザ・裏側バスツアー

平成21年度

平成21年7月からの家庭ごみ有料化開始に合わせ、平成21年6月24日に、ごみを減量する「裏ワザ」について学ぶごみ処理施設見学ツアーを実施しました。このツアーには70人を超える区民が参加し、以下の施設を見学しました。

◆ リサイクルプラザ発寒工房(西区発寒15条14丁目)

「変身！生まれ変わる家具」

一般家庭から出された大型ごみの家具や自転車などが修理され、リユース品として販売されるまでの様子を見学。



自転車の修理



家具の修理の見学

◆ 発寒清掃工場(西区発寒15条14丁目)

「清掃工場 裏側探索」

家庭ごみ有料化の制度についての講習を受講し、ごみピット(ごみの貯留場所)等を見学。



発寒清掃工場



施設内の見学

◆ 札幌市リサイクルプラザ(西区宮の沢1条1丁目)

「おサイフと環境にやさしい暮らし方講座」

ごみの減量についての講習を受講し、リサイクル製品の販売を行っている市民交流広場を見学。



リサイクル家具の展示・販売コーナー



リユースコーナーの見学



第3節 次世代実践者の育成

西区環境まちづくりリーダー講習会

平成22年度～

「西区環境まちづくりリーダー講習会」は、子ども向けの自然体験学習の際に、指導や解説を行うことができる人材を養成するための講習会です。講習会の全課程を修了した受講者は「西区環境まちづくりリーダー」に認定され、西区こども環境広場(34ページ参照)やエコキッズ・プログラム(18ページ参照)、西区こども自然学校(19ページ参照)など、区民協議会や西区役所が主催する事業に参加し、子どもへの指導を行っています。また、この講習会では、国際的な環境教育プログラムである「プロジェクトWET(※1)」、「プロジェクトWILD(※2)」、「プロジェクト・ラーニング・ツリー(※3)」、「NEALリーダー(※4)」をカリキュラムに組み込むなど、国内外でも通用する資格を取得することができます。

平成26年度までに49人が「西区環境まちづくりリーダー」として認定され、西区のみならず札幌市内外で環境活動に携わっています。



AED講習



水生生物観察会の実習

※1 プロジェクトWET

地球上の水の循環など、水資源に対する知識や理解を深め、環境に対する責任感を促すことを目標とする教育プログラム。

※2 プロジェクトWILD

「自然や環境のために実践・行動できる人」を育成することを目標に、野生生物をテーマとした環境教育プログラム。

※3 プロジェクト・ラーニング・ツリー

樹木や森林をきっかけとして、自然に対する気付きに導き、環境問題に関心を持ってもらうことを目的とした環境教育プログラム。

※4 NEALリーダー(自然体験学習指導者)

キャンプ、登山、自然観察などのさまざまな場面で感性を磨いたり、土地の伝統文化や食文化に触れたり、専門的な知識と技術をもって自然体験活動の普及に貢献する人材を育成するプログラム。

こどもによるまちづくりを進める西区民会議

平成21～22年度

環境活動を継続し、発展させていくためには、次代の担い手である子どもたちの参加が重要であることから、子どもが主体となって、互いに連携し、協力しながら環境活動を行う推進母体として、平成21年度に「こどもによるまちづくりを進める西区民会議(呼称:こども西区民会議)」を設立しました。

こども西区民会議では、子どもが環境活動に参加する機会を充実させ、子どもの視点に立った環境活動を目指すために、毎年、活動テーマが設定され、以下の事業が展開されました。

*さんかくやまべえかるた(平成21年度)

「環境問題」をテーマに、西区の自然や環境について、子どもが簡単に理解し、遊びながら楽しく学ぶことができる環境ゲーム「さんかくやまべえかるた」を作成しました。

公募により選ばれた区内の小学4～6年生10人が「こども西区民会議委員」に任命され、三角山や琴似発寒川での自然体験や、区内の環境施設や農家などでの体験を通して感じたことを、標語とイラストで表現し、それらをかるとの読み札と絵札にしました。

このかるたは、区内の小学校や児童会館などに配布され、環境学習に活用されています。また、不要となった地下鉄車両広告のポスター台紙を再利用して「ジャンボエコかるた」を作成し、「西区こども環境広場(34ページ参照)」などのイベントの中で使用しています。



絵札の下絵作り



こども西区民会議委員と完成したかるた



* こども環境記者 (平成22年度)

公募により参加した区内の小中学生7人が「こども環境記者」となり、札幌市環境プラザや円山動物園などの環境関連施設を取材し、気象予報士などの専門家からの講義を受け、環境問題について学びました。

取材した内容は区民協議会のブログで発信し、子どもの視点からわかりやすい情報を提供しました。

また、12月に開催された「西区こども環境広場(34ページ参照)」において、取材内容や活動の様子を発表したほか、これまでの取材内容をまとめた壁新聞や、自ら考案し作成した環境すごろくを展示しました。



エルプラザの太陽光パネルを見学



環境すごろくの作成

コラム

環境活動手引き絵本 「さんかくやまべえが行く。」(平成19年度)

公募により参加した区内の小学4～6年生23人からなる「こども編集局」により、西区環境キャラクター「さんかくやまべえ」を主役とする環境活動の事例紹介と参加の手引きとなる絵本「さんかくやまべえが行く。」が作成されました。

こども編集局員は、環境活動に積極的に取り組んでいる企業や団体(円山動物園、北海道森林管理局、Cafe-lunch 斉藤ファームなど)の取材や自然体験学習会、そして編集会議を通じて、絵本のストーリーや絵本に登場するキャラクター3体(まるやまべえ・にーべえ・わるべえ)を考案し、絵本を完成させました。



西区環境キャラクター さんかくやまべえ



まるやまべえ



にーべえ



わるべえ

こども環境活動発表会

平成17年度～

こども環境活動発表会は、区内の小中学生が、日頃、学校や地域で行っている環境活動や自然体験学習の成果などを発表することで、それを聞く子どもや大人たちに環境問題に関心を持ってもらい、環境活動の実践につなげることを目的に開催しています。

平成18年度からは、札幌市西区PTA連合会が実施する「西区PTA子ども作品コンクール(20ページ参照)」と共同開催され、第1部では、西区PTA子ども作品コンクールの表彰式を行い、第2部の「こども環境活動発表会」では、最優秀賞受賞者による環境問題をテーマとした作文の朗読が行われるようになりました(発表者:巻末資料41ページ参照)。

また、平成22年度からは、より多くの区民に聞いてもらうことができるよう、「西区こども環境広場(34ページ参照)」の中で開催し、小中学生がステージ上での活動報告を行うほか、壁新聞や活動写真などの展示も行っています。



やまめの稚魚放流などの環境活動を発表(平和児童会館)



西区子ども体験学校での自然体験を発表(札幌市子ども会育成連合会西区支部)



第4節 メディアを用いた環境啓発

コミュニティFM「三角山放送局」にのせて

地域に根差すコミュニティFM「三角山放送局」を運営する株式会社らむれすが、区民協議会の取り組みを紹介するほか、時勢に沿った環境特集を企画し、以下の番組を放送してきました。



三角山放送局



ラジオの収録風景

* 西区エコびとマップ（平成16～18年度）

「西区エコびとマップ」では、地球環境や市民レベルの環境活動について、広く区民に情報発信するため、環境活動に熱心に取り組む区民をはじめ、企業・団体から毎回ゲストを招き、その個性豊かな活動内容を紹介しました（全32回、巻末資料42ページ参照）。

* 地球に優しいごみ出し大百科（平成21年度）

平成21年7月から札幌市において家庭ごみが有料化されたことに伴い、ごみ分別方法の変更やごみ有料化に関する広報企画番組「地球に優しいごみ出し大百科」を放送し、家庭で気軽にできるごみ減量・リサイクルを提唱しました（全13回）。

* 楽しくステキにカーシェアリング！（平成22年度）

西区役所が全国に先駆けて導入した「電気自動車による公用車カーシェアリング事業」を取り上げ、カーシェアリングの意義や利用者インタビュー、試乗体験レポートなどを放送しました（全8回）。

* 新エネルギー・自然エネルギー（平成23年度）

当時注目されていた新エネルギーや自然エネルギーに着目し、太陽光パネルを利用している公園や小学校の紹介、太陽光パネルを家庭で設置するとどのくらい光熱費が得になるかなど、身近な例を取り上げ、わかりやすく新エネルギー・自然エネルギーを紹介しました(全8回)。

* ガマンいらすの気持ちイイ節電（平成24年度）

全国的に節電がうたわれ、札幌市としても節電対策を重要な課題と位置付けていたことから、「行動する節電」をテーマに放送しました。「ガマン」「つらい」「面倒くさい」といった節電方法ではなく、ちょっとした行動や、家電製品の使用方法を少し変えるだけで、生活も気持ちよくなる節電方法を提案しました(全8回)。

* 西区エコびと図鑑（平成25年度）

アダプト・プログラムや廃食油回収など、地域で積極的に環境活動を行っている町内会、商店街、小中学校等からゲストを招き、区内で行われている環境活動を紹介しました(全8回)。

* わたしの提言エコトーク～これからの西区の環境活動～（平成26年度）

区民協議会設立10周年記念事業として、環境活動に熱心に取り組む地域住民、NPO法人、そして区民協議会が主催する環境関連事業にボランティアとして参加した市内の大学生による座談会形式の特別番組を放送しました。

エコタウンはっさむ(8ページ参照)の取り組みや、リフォーム教室・ごみ減量講座といったリサイクル事業など、これまで行ってきた環境活動を振り返るとともに、人手が足りず活動の規模が限られてしまうことや、これからの活動を担っていく人材が不足している状況についてなどを話し合い、問題意識を共有しました。

また、こうした現状に対し、各団体が相互協力するほか、意欲のある学生が活動に加わって地域の活性化を図り、人材不足の解決を目指すといった、提言がなされました。



わたしの提言エコトークの収録風景



さまざまなメディアにのせて

* ホームページ、ブログ

区民協議会の取り組みを広く周知し、区民一人一人に環境活動の実践を促すため、平成16年9月にホームページを開設しました。

開設当初は、主催事業の告知を主な内容としていましたが、平成17年12月からは、子どもたちが環境問題について意見や情報を交換する場として、掲示板機能を利用した「こどもエコne t・リーダー会議」を設けるなど、内容の充実を図りました。

また、これまでの活動事例やノウハウ等を世界に発信するため、英語版ホームページを平成19年3月に新たに追加し、国内外における環境コミュニティづくりを目指しました。

平成22年度からは、ブログに移行し、パソコンのほか携帯電話からも気軽に閲覧できるようにすることで、迅速な情報発信が可能となりました。ブログでは、区民協議会の環境活動のほか、三角山や琴似発寒川など、区内の自然についての情報も提供しました。

平成25年度からは、より多くの区民に周知するため、情報発信の場を西区役所公式ホームページに移行し、幅広い層に向けた環境啓発に取り組んでいます。



ブログを用いた情報発信

* 地域情報紙「ウォーク」

区内（一部地域を除く）に配布される地域情報誌「ウォーク」（発行：北海道新聞・区内販売所 編集：編集倶楽部310）では、区民協議会の活動記事を掲載するほか、三角山放送局で放送されたラジオ番組（29、30ページ参照）の内容を、より多くの区民に知ってもらうよう、その特集記事なども掲載しています。

* 広報さっぽろ西区版

広報さっぽろ西区版では、「省エネルギー」や「アイドリングストップ」といった日常的に出来る取り組みをコラムとして掲載したり、区民協議会の環境活動を詳細に掲載する特集記事を企画することで、地域に密着した、わかりやすいきめ細やかな情報提供を行っています。



広報さっぽろ西区版の紙面

第5節 区民とともに広げる環境活動

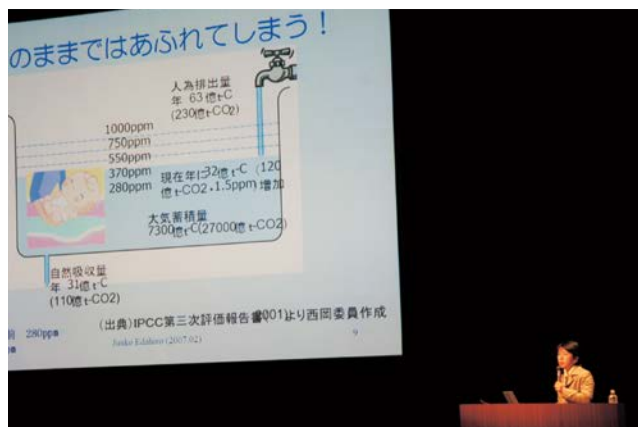
“地球に優しいまちづくり”活動報告会とセミナー

平成16～20年度

「“地球に優しいまちづくり”活動報告会とセミナー」は、区内で環境活動を行っている町内会、企業、小学校などの団体が、その活動の内容や成果を報告するとともに、他団体の活動事例を見聞きすることで、各々の活動の充実・発展を目指すこと、また、他団体との連携を促進することを目的として実施したものです。

このイベントでは、町内会や企業、小学校などにより、省エネや地産地消などの環境活動について発表されたほか、環境ジャーナリスト・枝廣淳子氏やNPO法人ねおす代表・高木晴光氏を招いての講演やパネルディスカッションも実施されました。

平成21年度からは、札幌市リサイクルプラザ（NPO法人環境り・ふれんず）主催の「エコトーク映画会」とともに開催し、事業名を「地球に優しいまちづくりフォーラム」と変更して実施しました。



枝廣氏の講演「地域から考える地球環境」

コラム

エコライフ宣言・西区1万人認定式

札幌市では、自分ができる環境行動について意思表示（宣言）することにより、環境に対する意識を高め、実践に結びつけるため、平成17年2月から「エコライフ10万人宣言」を実施しました。

区民協議会においても、この「エコライフ10万人宣言」への参加を積極的に呼び掛けた結果、西区は平成18年2月22日に10区の中では一番早く、宣言者1万人を達成しました。

これを記念し、同年3月24日に開催された「“地球に優しいまちづくり”活動報告会とセミナー」の中で、「西区1万人認定式」を行い、上田市長から西区で1万人目に宣言された区民に認定書が手渡されました。

コラム

エコトーク映画会

札幌市リサイクルプラザ（NPO法人環境り・ふれんず）の主催で実施しており、ちえりあホールを会場に、環境を題材とした講演と映画の上映を行っています。

これまで、北海道の環境保全についての対談や円山動物園獣医師による講演などが行われたほか、幅広い層に関心を持ってもらうことができるよう、ドキュメンタリー映画「アース」やアニメ映画「ウォーリー」、「ていだかんかん～海とサンゴと小さな奇跡」などの映画を上映しました。



円山動物園獣医師の講演

エコまち西区 d e リレーイベント

平成 20 年度

平成 20 年 7 月 7 日から 9 日まで、洞爺湖町で「北海道洞爺湖サミット（主要国首脳会議）」が開催されました。このサミットは、日本が議長国となり、北海道で初めての開催となったもので、地球温暖化対策を含めた環境問題が主要なテーマとなりました。

このサミットの開催にあわせ、区民の環境に対する意識を高めるとともに、環境活動への参加を呼び掛けるため、以下の事業を実施しました。

* さんかくやまベエと行く親子エコツアー

平成 20 年 6 月 21 日に、環境活動手引き絵本「さんかくやまベエが行く。（27 ページ参照）」で紹介されている施設を巡る見学会を実施しました。

見学施設

- ・ジャスコ札幌発寒店（現：イオン札幌発寒店）
- ・鈴木商会 発寒リサイクル工場
- ・リサイクルプラザ発寒工房
- ・Cafe-lunch 斉藤ファーム
- ・札幌市水道記念館
- ・円山動物園



ジャスコ札幌発寒店での施設見学

* みんな d e おもてなし清掃

平成 20 年 7 月 1 日に、地域住民やアダプト・プログラムに参加する小学校、企業などの団体が、区内の歩道や公園のごみ拾いを一斉に行いました。これは、サミットを機に来札する方を「きれいな街さっぽろ」に温かく迎えるため、「おもてなし清掃」として実施したもので、21 団体、1,429 人が参加しました。



琴似小学校児童による清掃活動

* 三角山 d e エコメッセージ

このイベントは、北海道洞爺湖サミット前日の平成 20 年 7 月 6 日に開催されました。西区のシンボルである「三角山」の山頂（※）に専用ポストを設置し、登頂した区民から、環境や三角山への想いなどを書いたメッセージを募り、三角山の標高 311 メートルと同じ 311 枚ものメッセージが寄せられました。

※サミット（summit）は、「首脳会談」のほか「山頂」を意味することから、北海道洞爺湖サミットの開催にかけて、三角山の山頂（サミット）にポストを設置した。



山頂のエコメッセージポスト

西区こども環境広場

平成22年度～

子どもたちに「見る」「聞く」だけでなく、さまざまな体験を通じて楽しみながら環境について学ぶ機会を提供するために、西区民センターを会場として、体験型の環境イベントである「西区こども環境広場」を、平成22年度から開催しています。

区民協議会の構成団体を中心となり、自然体験、省エネ・リサイクル、地産地消など各団体の専門分野をテーマに出展しており、来場者がイベントへの参加を通じて、身近な環境問題に関心を持ち、環境活動に参加するよう促すことを目的に実施しています。

また、アダプト・プログラムや水生生物観察会など、日頃から取り組んでいる環境活動を子どもたちが発表する「こども環境活動発表会(28ページ参照)」も併せて実施しています。

平成26年度は、区民協議会設立10周年記念事業と位置付け、西区民センター館内のほか、屋外も会場とし、身近な環境問題である「食」をメインテーマとして開催しました。例年より規模を拡大し実施し、子どもだけではなく、大人も楽しみながら環境について考えてもらうため、料理研究家・星澤幸子氏による特別講演会や、地元で採れたリンゴや小松菜などの果物や野菜を生産者が直接販売する直売会も同時開催し、400人を超える区民が来場しました。



木の实を使ったクリスマスリース作り



生ごみのたい肥化体験



うちわでの風力発電実験



西区産の野菜と果物の販売

